



【第4回】

プロフェッショナルたちが語る、カマンが実施する食育についての言葉

甲南学園 甲南小学校

甲南幼稚園 園長

江口 理恵 / Eguchi Rie

多くの学校・園・スクールで「食育」が取り入れられ、教育に食育は欠かせないものになってきました。そういった状況の中、食育プリスクール カマンに通う子ども達は毎日クッキングをしながら、いろいろなことを学んでいます。

カマンで1～2年過ごした子ども達が、毎年甲南幼稚園に入園しますが、その子ども達から「心が安定している」「子ども同士の小さな社会でもたくましく生活している」ということを実感します。ご家庭の環境もさることながら、幼い時を過ごしたスクールでの環境の中でも育まれたことではないかと思います。心が安定している子ども達は、新しい幼稚園生活においてもいろいろなことに興味や関心を持ち、積極的に溶け込んでいく様子が見られます。また、教師の話を理解して聞ける子どもが多く、生活や遊びに対して自分で考えて行動するたくましい姿も見られます。

これらは日々の「食育レッスン」で培われたものではないかと思います。食育レッスンは、毎日のクッキングを通して行われています。ままごと遊びとは違い、本物の実体験が繰り返されているわけです。大人でも、料理がいつも完璧にできるとはいえません。それが、1～2歳の子ども達が大人と同じような料理の工程を踏むのですから、卵を1つ割ることすら大変なことかと思えます。カマンの子ども達は、困ったことや不都合なことが起きたとき、もちろん泣いて感情をあらわにすることもありますが、気持ちの切り替えが早く、いつまでも引きずりません。それは、1～2歳の時に多くの失敗を体験し、そこから立ち直すべを食育レッスンで学んでいるからではないでしょうか。常に困難なことが目の前で起き、それを自分の力で解決しなければ調理は終わりません。その過程を日々積み重ねているため、生きる力が知らず知らずのうちに培われているのではないかと思えます。

またカマンの子ども達は、スプーンや箸を正しく持ち、好き嫌いをせずにパクパクと食します。そして、排泄の自立が出来ており、様々なところで自信をもって取り組む姿が見られます。

保護者の方も、子離れの準備がしっかりと出来ておられることを感じます。子ども達が何にでも積極的に取り組むなかで、保護者の方も失敗を回避するために先に先にと手を出さず、見守っている方が多いのではないのでしょうか。子ども達の学ぶ力を信じて、親も待てるのだと思います。

カマンで3歳までの大切な時期を過ごした子ども達は、無邪気な笑顔の奥に何か秘めた力を持っています。幼稚園生活までの下地ができている子が多く、安心して迎え入れることができるお子様たちです。

入園後は、幼稚園生活の中でさらに個々の個性が発揮できるよう、お預かりさせていただきたいと思えます。

COMMON